



かがやけ

佐世保市立猪調小学校
文責 校長 鶴田 和久

学校給食のはじまりは

1月24日から1月30日までは、全国学校給食週間でした。

日本での学校給食は、明治22年に始まって以来、各地に広がっていききましたが、戦争の影響などによって中断されました。

戦後、食糧難による児童の栄養状態の悪化を背景に学校給食の再開を求める国民の声が高まるようになり、昭和21年6月に米国のLARA（アジア救済公認団体）から、給食用物資の寄贈を受けて、昭和22年1月から学校給食が再開されました。

同年12月24日に、東京都内の小学校でLARAからの給食用物資の贈呈式が行われ、それ以来、この日が「学校給食感謝の日」と定め



られました。そして、昭和25年度から、学校給食による教育効果を促進する観点から、冬季休業日と重ならない1月24日から1月30日までの1週間を「学校給食週間」と設定されました。

この学校給食週間に合わせて、猪調小学校でも給食委員会の児童が企画、準備を行い、1月30日、給食集会を行いました。

まず、学校給食のはじまりについて、給食委員会による発表をおこない、給食の今と昔を紹介し、感謝の気持ちをもって給食を食べようと全校児童に対して呼びかけを行いました。スライドによる資料の発表を劇風にアレンジすることにより、低学年の児童にも分かりやすくまとめられていました。



次に、江迎小学校の荒木花子学校栄養職員さんにより、鹿町江迎学校給食センターにおける給食に携わられる職員の方々の仕事の内容とその思いについて、クイズ形式を取り入れられながら、こちらも分かりやすく説明していただきました。

3回の食材の洗浄や自分自身の爪をブラシで洗うことにより、清潔さを保っていることなど、安心して給食を食べてもらうために、給食センターの職員のみなさんがどのような注意を行っているのか、日頃、給食センターでの様子を見ることがない児童にとっては、たいへん有意義な内容でした。

また、その給食センターのみなさんへ感謝の気持ちを届けるためには、どのようなこと

ができるのかについても、以下のような話をしていただきました。

心を込めて「いただきます」「ごちそうさま」を言うこと

きれいに食べること

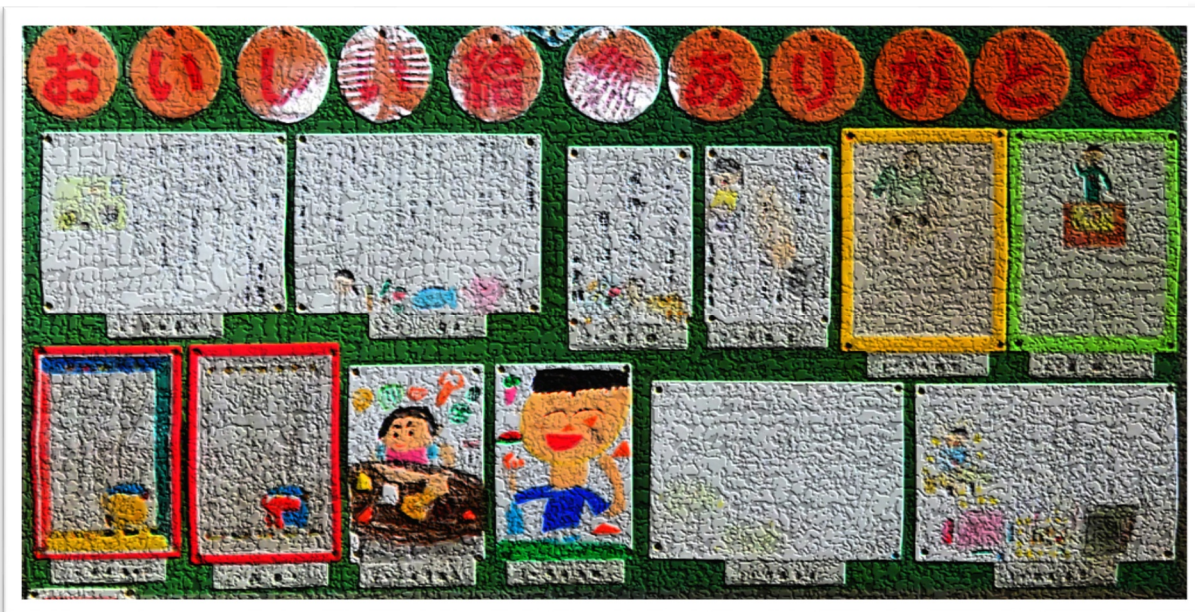
食器は、ていねいに使うこと

子どもたちも、「これならできそうだ。がんばるぞ。」と意欲を高めたのではないのでしょうか。

その後、荒木栄養職員さんと長野事務補助員さんへ児童による感謝の手紙を贈呈し、最後に『えいようの歌』の全校合唱が行われました。

よい給食集会が実施できたと思います。

また、給食週間に合わせて全校児童が取り組んだ、作文、絵、標語といった作品の紹介について、1月30日と31日の二日間にわたって、給食時間に行われる校内放送において、担当の藤田教諭による紹介と学年代表の児童による発表が行われました。（下の写真は、その校内に掲示されている学年代表の作品です。）



P T A L I N E 研修会

1月29日には、18時30分より、猪調小学校家庭科室において、PTA主催による「LINE（ライン）」研修会が行われました。以下、その会の冒頭部分の概要を記載します。

ネットトラブルには、次のようなものが考えられると下記の8つの例示がありました。
悪口・いじり、 不適切情報の発信、 不適切サイトの閲覧、 著作権の侵害、
知らない人との出会い、 高額課金、 長時間利用、 不正なアプリのインストール

これらのトラブルを分類すると次の3つに分けることができます。

- (1) 不適切な情報を送る・発信する
○悪口・いじり、悪いふざけやデマの書き込みなど（主に上記例）
- (2) 不適切な情報を受け取る・見る
○知らない人からの誘い出し、青少年にふさわしくないサイトの閲覧など（主に）
- (3) 不適切な使い方・管理をする
○長時間利用や高額課金、不正なアプリのダウンロードなど（主に）

それぞれの対策として、以下の取組が紹介されていました。

- (1) → 「コミュニケーションのトレーニング」
- (2) → 「設定の確認」
- (2) (3) → 「ルール工夫」

* 研修会では、単に講話を聞くだけではなく、それぞれの項目に対しての自分の考えや経験等について近くの方々と情報を交換できる時間も確保してありました。

もともとは、2011年の東日本大震災をきっかけとして現在のLINEの形態が生まれたそうです。電話などが利用できない場合の通信手段の一つとして想定されていて、少し前には物議をかもし出していた「既読機能」も「メッセージ」を送る状況にない場合でも「送られた内容を読んではある」という安否確認の手立てとして考案されたという話の紹介もなされていました。

「使わない」ばかりではなく、「いかに賢く利用するのか」、そのための手立てをどうするかということについて、私たち、大人が今後更に考えていく必要があるのだらうと思います。

今回、猪調小学校PTA単独の事業として計画、実施されたこの研修会でした。研修会終了後でしたが、浦川PTA会長様からは、今後、江迎3校合同による取組や町の枠を超えた取組へと広げていきたいと話されていました。